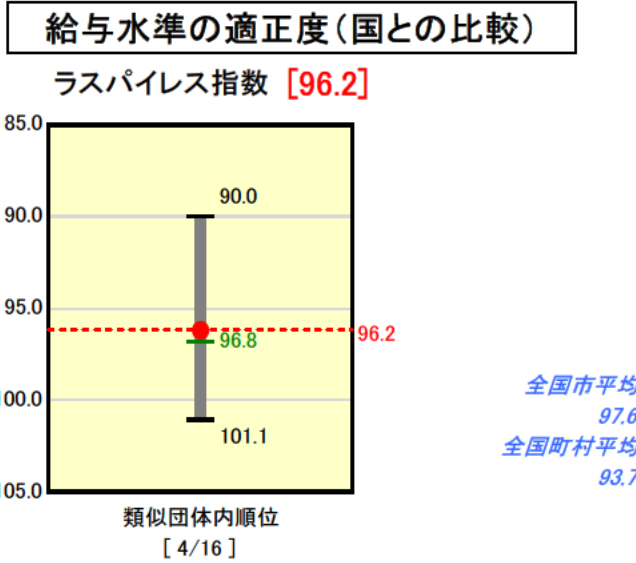
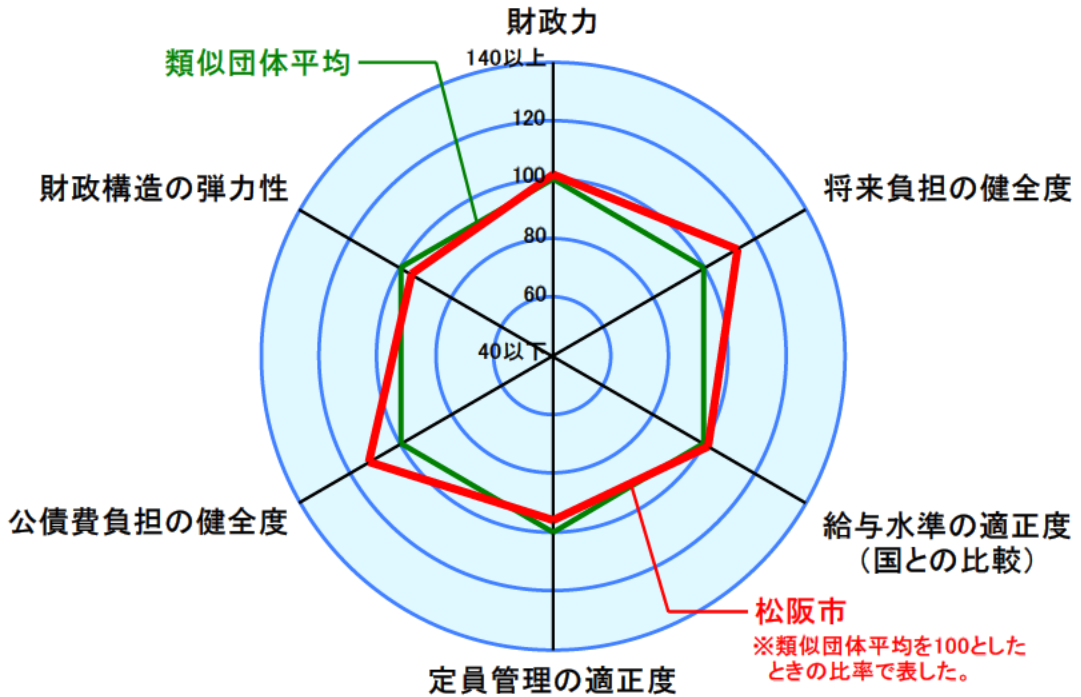
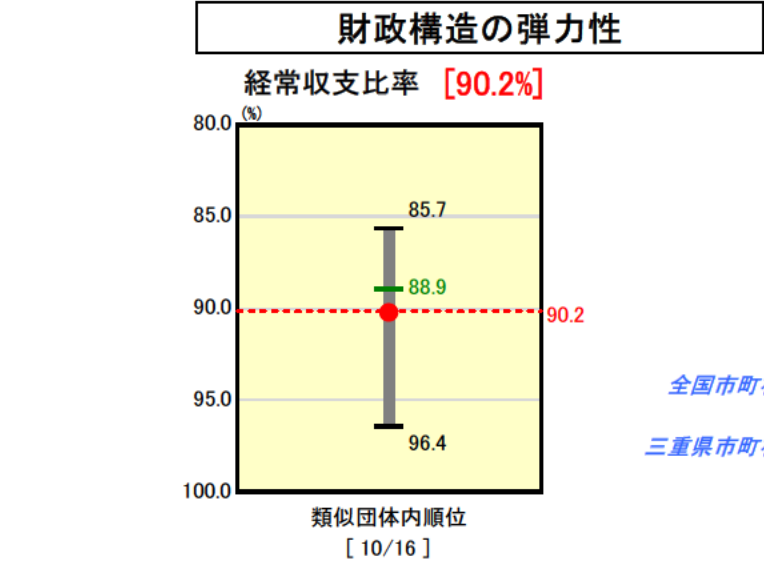
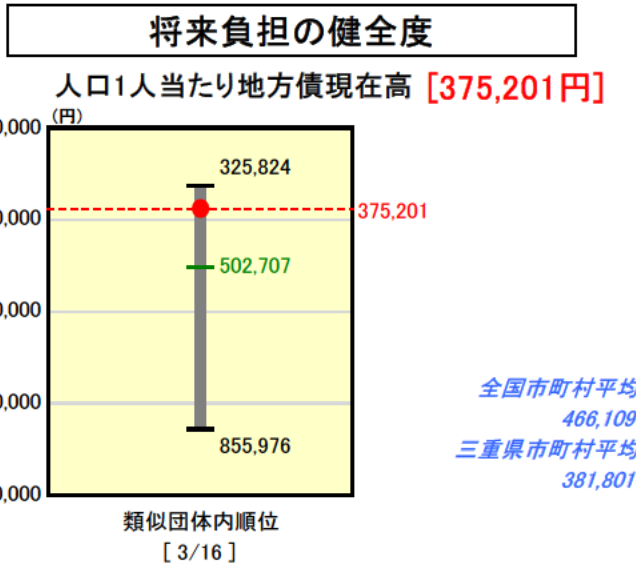
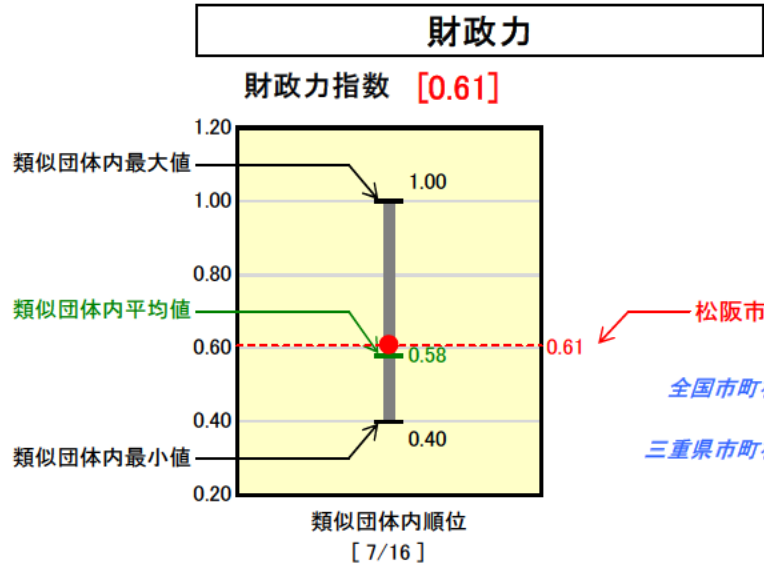


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 松阪市

| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 167,068人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 623.80 km ² |
| 歳入総額 | 61,359,292千円 |
| 歳出総額 | 59,493,938千円 |
| 実質収支 | 1,329,692千円 |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：本市では近年、急速に下水道整備に取り組んできたことにより、その投資的経費の需要額が増大してきていることから、財政力指数も低下傾向にある。投資的経費では、財政需要に見合った特に必要な事業の選別を図りつつ、収入面では増収増等による歳入の確保に努めていく。

経常収支比率：16年度は合併年度に当たり歳出面において、退職手当組合を脱退したことで、その精算負担金が生じたことなどにより、類似団体平均を上回った数値となっている。今後も高い水準にあることが予想されることから、集中改革プランに沿った職員数の削減による人件費を初めとする義務的経費の削減に努め、改善に向けた取り組みを進めていく。

起債制限比率：過去の経過から、財源措置のあるものに厳選して借入れを行ってきていることにより、類似団体平均を下回っているが、今後も事業量等計画の再検討を行うことで借入額の抑制を図り、引き続き水準を維持していく。

人口1人当たり地方債現在高：市町村合併に伴い、新市建設計画に基づく合併特例債の活用により今後地方債が増加する見込みである。今後は発行額が元金償還額を超えない額として抑えることにより、公債費が将来の大きな負担とならないよう財政の健全化を進める。

ラスパイレス指数：現行の給与体系において全国平均を1.4、類似団体平均を0.6下回っており低い水準にあるといえるが、今後も集中改革プランに沿った諸手当等の見直しを行うなど給与の適正化に努めていく。

人口1,000人当たり職員数：市町村合併に伴い市域が拡大し、その地理的特性から支所等の配置が必要であり、類似団体と比較して職員が多くなっている。合併に伴う部門の整理統合により退職者の不補充を実施するとともに、事業の見直しや、事務の民間委託の推進等により、平成22年度までに128人(市民病院除く)の職員数削減を目指す。

